

安来市比田地区の取組

比田地区では過疎、高齢化により地域が疲弊する中、地域の機能を維持し、住みよい比田であり続ける仕組みを作るために地域内の有志によりプロジェクトチームを立ち上げ、多くの住民と共に10年計画の比田地域ビジョンを平成28年3月に策定されました。同年8月には地域ビジョンの実現に向けた地域運営組織として、若手を中心に73名の構成員が参画する「えーひだカンパニー」を立ち上げました。一方、このような自主組織は他の地域でも存在し、その多くは一部の住民のボランティアや、行政からの補助金等の支援で成り立っているために中心人物の脱退や、行政支援の縮小などで時の経過と共に弱体化していきます。そこで、自治組織と生産機能を併せ持った持続可能で社会的信用力の向上などを目的に平成29年3月に「えーひだカンパニー株式会社」として法人化し、地域活動を行う株式会社として自立した地域づくりを進めています。会社の組織として、定住促進部、地域魅力部、ひだキッチン部、ひだガーデン部、比田米プロジェクト部、生活環境部、総務部が作られていました。

奥出雲町の取組

人口減少、高齢化、少子化などに対して、(1) 全地区に幼稚園(保育施設)の整備、待機児童「ゼロ」、中学生以下医療費無料、起業体験授業「だんだんカンパニー」(横田高校)、海外からの留学生受け入れなどの子育て支援、(2) 仁多米などの奥出雲ブランド、IT企業の誘致、「若もん未来会議」による地域リーダー育成、たたら製鉄などを活かした観光振興、ホッケー競技事前キャンプ誘致などのしごとづくり、(3) 空き家バンク、地域おこし協力隊、まち・ひと・しごとセンター、「DEEP本」発行とHPによる情報発信などの定住・UIターン、(4) たたら製鉄、奥出雲電力(株)、「きらり輝くまちづくり」による協働まちづくり、奥出雲バルなどにより地元購買意欲の向上、学校給食等への地域食材活用による地産地消などの取組をされていました。